



お元気ですか
志村 たかよし です

第429号 2009年2月15日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

中央区保健所と聖路加病院が 新型インフルエンザ対応実地訓練



聖路加病院の敷地内に作られた発熱外来のテント。
発熱電話センターが「新型インフルエンザ」の疑いがあると判断された患者は発熱外来に行き、診察を受けます。

「新型インフルエンザ」という言葉を耳にするのが多くなりました。「新型インフルエンザ」とは、鳥類などの動物のインフルエンザウイルスが人に感染し、人から人へと感染することをいいます。
新型インフルエンザは、まだ発生していませんが、ひとたび発生すれば、人は、新型インフルエンザウイルスに対する免疫を持っていないので、大流行



発熱外来で「新型インフルエンザ疑似症」と判断された患者は、新型インフルエンザ用の特殊救急車で所定の病院に搬送されます。この救急車は、現在、都内に5台しかないので、今後の対策が求められます。

になるおそれがあると言われています。大流行してしまうと多数の死者が出たり、社会経済活動への影響が心配されています。

1918年の「スペインかぜ」では2千万〜5千万人が死亡、1957年の「アジアかぜ」では百万〜4百万人が死亡、1968年の「香港かぜ」でも、百万〜4百万人が死亡しています。

新型インフルエンザにかかったかな、と思ったときは…
発熱電話相談センター 専用電話番号

03-3541-5254

- ・海外で新型インフルエンザの発生が認められた段階で開設します
- ・新型インフルエンザについての健康相談受付窓口となり、感染拡大防止対策についての相談などを電話でおこなう相談センターです。

日本共産党区議団は、昨年9月の本会議で「新型インフルエンザ」問題を取り上げ、対策の強化を求めてきました。

2月7日、中央区保健所は聖路加病院の協力を得て「新型インフルエンザ実地訓練」をおこない、医師会や医療機関、消防署、警察署、区議会などから83人が参加しました。



発熱外来のテントには、患者が運ばれるため、テント内の空気を清浄化させる機械が設置されていました。フィルターは、99.9%の精度でテント内のインフルエンザ菌を濾過し、外に排気するそうです。

訓練の目的は、新型インフルエンザ患者発生時の対応能力を高めるとともに、警察や消防、医療などの関係機関の役割を確認することです。



訓練終了後は、医者や看護師が身につけていた「防護服」の脱衣訓練がおこなわれました。新型インフルエンザの患者に対応するためには、医師たちも命がけです。

訓練の想定は、国内または都内で新型インフルエンザの限られた発生が確認されるか、さらに都内で複数の感染した集団が見られ、感染の拡大が予想される(区の発生段階レベル3A)というものでした。訓練終了後の会議では、訓練を視察した医師の方

から質問や積極的な提案が出されるなどの意見交換がおこなわれました。

新型インフルエンザが発生すると、国も都も迅速に情報を発信しますので、正確な情報を収集し、冷静に対応することが重要です。

新型インフルエンザの「発生宣言」がおこなわれてから、発熱したときは、「発熱電話相談センター」に連絡しましょう。

病院や診療所に行くと、万が一、新型インフルエンザだった場合、多くの人にうつしてしまいます。

予防は手洗い、うがい、マスク

新型インフルエンザもインフルエンザの一種なので、感染の仕方は、通常のインフルエンザと同じです。

インフルエンザに対しての有効

な予防は、「手洗い」「うがい」そしてマスクの着用です。咳やくしゃみをするときは、マスクをするかティッシュなどで口元を覆いましょう。

京橋「新春のつどい」

2月15日(日) 午後1時から 新川区民館

2階 7号室

参加費は 1000円(軽食・飲み物付)

ぜひ、お気軽にご参加下さい。

お申し込みは、志村(3536-6309)まで、お願いします。

「お元気ですか」バックナンバー → <http://www.jcpcchuo-kugidan.jp/shimura/shimura.htm>